

## 令和4年度 卒業式 式辞

R5. 3. 1

時代が移り社会が変わっても自然の営みは変わることがなく、今年もまた春が巡って来ます。希望と喜び溢れるこの春の良き日に、保護者の皆様のご臨席のもと「第九十九回松江西高等学校卒業証書授与式」を挙行できます事は、本校にとりまして大きな喜びです。

本日、卒業証書を手にされる150名の卒業生の皆さん卒業おめでとう。この3年間には、楽しかったことや苦しんだことなど色々なことがあったことと思います。それらを乗り越え今日のこの日を迎えました。皆さんは、本校での3年間の課程を修了した喜びと今後の新生活への期待を胸に、それぞれの道へ進みます。

今、皆さんの脳裏には、この3年間の中でどんな事が思い出されているでしょうか。3年前の入学式では、本校の教育テーマである「未見の私の発見」について、「人は自分の中にまだ気が付いていない素晴らしい自分を誰もが持っている」という話をしました。皆さんは日々の積み重ねの中で、一人ひとりがそれぞれの「未見の我」を発見したことでしょう。

令和2年2月、政府より全国の学校に休業の要請があり、入学間もない4月からは休校措置を取りました。誰もが不安な気持ちを抱えたまま高校生活がスタート、あれから実に3年の月日が流れました。

常にマスクを着用する皆さんは、お互いの素顔を知らずに、今まで当たり前に行っていたこともできなくなり、たくさんの制約を受けることになりました。分散登校に始まり、部活動の大会は軒並み中止を余儀なくされました。始業式をはじめとした集会や進路ガイダンスのリモート実施等、校内はもちろん日常生活においても、皆さんは「コロナ禍の中」の高校生活でした。学園祭等学校行事も大幅に変更、中でも沖縄研修旅行の中止は皆さんにとっても大きな出来事ではなかったでしょうか。

一方で見方を変えれば、皆さんの高校生活の学びは唯一無二のものになったとも思っています。この3年の変遷の中で皆さんのニューノーマルは形作られてきています。これは学びの大きな財産です。感染防止のための思考や行動は個人中心ですが、その中でも周囲の大切な人のことを考え、地域社会や日本、更には世界の人を意識しながら自分の在り方を見つめ直せたのではないのでしょうか。世界と自分の行動を繋げて考える事、そんな思考の中で行動を選択し続けたこの3年間は、まさに「未見の我」の実践であり、皆さんの人生におけるキャリアの中で、大変に有用な知識と経験を積んだに違いありません。

その日々の中には、絶えず気遣いながらご家族と周囲の方々が支え、励ましがあったものと思います。是非皆さんから、お世話になった方々へ素直に感謝の気持ちも伝えてもらいたいと思います。

今後皆さんが過ごす社会は、多様な人々との関わりの中で生きていくこととなります。また、皆さん一人ひとりが個性を活かして活躍するために、自らの多様性を重視した行動をとることが必要と思います。そして、その過程で得たコミュニケーション力は、皆さんにとってかけがえのない財産となり、未来の力となるでしょう。

その時代を生きる社会の担い手になる皆さんに言葉を送ります。「我以外皆我師」という言葉です。これは「新平家物語」や「宮本武蔵」など数多くの優れた著作で親しまれた作家「吉川英治先生」の言葉です。先生の生活を物語る話の一つに「二行の履歴書」があります。履歴書に「小学校中退」と「賞罰なし」の二行しか書くことがなく、十代の頃から建設現場の作業員や行商、工員や事務員など七回も職を変えることとなります。こうした厳しい生活の中で先生はコツコツと勉強を続け、「自分以外のものはすべて私の師であり、物事に対して謙虚に学ぶ」という「我以外皆我師」を抱かれました。それは、少年の頃の恵まれない環境の中で、厳しい生活の中から体験を通して学び取られたものです。

私は、皆さんの持っている力は皆さんが思っている以上に素晴らしいものがあると信じています。

これからの長い生涯には、辛いことや苦しいこと、または難しい選択をすることもあります。その中で、周囲にある全てのものから学んでいくという姿勢によって、自分の道を拓いていってほしいと思います。

今、世界的に持続可能な循環型社会に造り替えられようとしています。皆さんには、日本だけにとどまらず、世界の環境・教育・人権・貧困・エネルギーなど様々な問題に目を向けて、グローバルな視点で活躍してくれることを願っています。

今日のこの日を皆さんとともに迎えることができたことを嬉しく思い、心から感謝しています。学校として教育活動を行っていくには、皆さん一人ひとりができることを行っていくことが不可欠であり、このコロナ禍の学校は、皆さんの成長で支えられてきました。「本当にありがとう。」

最後になりましたが、お子様の限りない成長を願い、常に深い慈愛を注ぎ、ここまで育てられた保護者の皆様に心からお祝いを申し上げます。この3年間、本校の教育活動に深いご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

「ありがとうございました。」

卒業生の皆さんの今後益々のご活躍と、ご多幸を祈念して式辞と致します。

令和五年三月一日

松江西高等学校 校長 安達 徹